

令和3年度自己評価結果公表シート

作成 川口聖マリア幼稚園

1、本園の教育目標

情操豊かにたくましく
他人を思いやる心を育成することを目標とする

2、評価項目の達成及び取り組み状況

引き続きコロナ禍での園生活となり、マスク着用や消毒など感染症に対する生活の方法や重要性を子どもたちに伝え習慣づけを図り、また、不安で登園の自粛など、特に不安を抱える保護者に対して丁寧な対応を心掛けている。

感染対策を取りながら子どもの成長に応じ幼児期にふさわしい生活が出来るよう環境を整えている。

3、本年度、重点的に取り組む目標・計画

評価項目	取組状況
保育計画の評価・反省を次の保育に活かせるよう取り組む	日々の保育を振り返り、良い点は継続しつつ反省点をあげ、他の保育者の意見を取り入れ、計画を立て直し実践するよう努める
感染症に対する生活の方法を考え実践すると共に、子どもにもその重要性を伝え指導を徹底する	マスク着用・消毒など声掛けをしながら徹底し指導してきた。昼食時には黙食なども子どもたちなりに頑張っており取り組んでいる
年齢に応じた運動遊びを取り入れ、必要な運動感覚を養い体力作りをする	戸外での遊びを楽しみながら、鉄棒や遊具などを使用し身体を動かす活動にも挑戦するよう心掛けている
個々の状況・実態を把握し園生活を送るための援助のあり方について、職員間で共通理解を図る	感染症への不安という新たな問題に対し、園での取り組みなどを丁寧に説明することで理解を得られるよう努めている

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

今年度も感染症への対策等に重点を置かざるを得ないところがあり、子ども同士の関わりなどは平常通りとはいかない中で保育を展開しなければならない難しさがあった。

体力やコミュニケーション能力の低下が気になるところで、感染対策をとりつつも様々な活動を取り入れることで、少しずつ解消を目指している。子ども同士の関わりなど改めて重要性を感じることも多々あったため、不安を感じる子どもや保護者へも配慮しつつ保育を進めていくことが必要である。

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
子どもの体力づくり・経験不足の解消	子ども達に体を動かす楽しさや充実感を味わえるように工夫し、様々なことをやってみようとする気持ちを持つよう指導を工夫する。
家庭との連携	普段の生活の中で気になることなど、こまめに知らせながら信頼関係を築き、保護者の不安や心配事の解消へとつなげる。緊急時の連携の再確認。
感染症への対応	引き続き手洗い・うがい・消毒などの大切さを絵本などを用いながら子どもたちに知らせ、確実に実行できるよう見守っていく。

6、学校関係者の評価

概ね日々の努力は認められ、特に指摘すべき事項はなく妥当であると認められる

7、財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている